

Staple



施設例：SOIL Setoda（瀬戸田）

- 本社所在地：広島県尾道市瀬戸田
- 事業概要：ホテル・宿泊施設の企画・開発・運営、不動産開発、設計・デザイン、まちづくり
- 常時使用する従業員：96名
（グループ全体・2025年12月時点）
- 現在の売上高：18.0億円
（グループ全体・2025年12月期）
- 法人番号：7130001063308
- Web：https://staplejp.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
岡 雄大

地球の裏側からでも訪れたくなる、ローカルの日常と文化を育てる。

Stapleは、日本各地の地域に根付き、ホテルを起点に、その土地に必要な場所と事業を育てる会社です。投資、企画・開発、デザイン、運営、地域との関係づくりまで一気通貫で行うことで、人口減少下でも「旅の目的地」と「豊かな生活圏」の両立を実現します。2030年にはグループ売上高100億円を達成することで、地域への長期的な投資と従業員の継続的な賃上げを支える経営基盤を築き、持続的な成長を実現します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2030年に売上高100億円を達成し、2034年に186億円を目指す。
ホテル運営を主軸としたエリア開発・地域開発を通じて高い成長を実現するとともに、持続可能な地域成長を実現する。

課題

- ・開発／運営を担う人材（支配人・開発担当）の採用と育成
- ・成長投資を支える資金調達力と金融機関との連携強化
- ・施設ごとの独自性強化とオペレーション標準化の共存

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・中古建物の取得＋リノベによるホテル新規開業
- ・不動産ファンド（GOOD SOIL）の継続組成
- ・小口分譲（House）事業の立ち上げ
- ・自社開発Prop-tech（SaaS・AI）による送客エコシステム
- ・M&A、海外展開（NZ等）

実施体制

- ・開発・運営・デザインの一気通貫体制
- ・自社プロダクト開発体制（SaaS・AI）
- ・連結会計・ファンド管理等コーポレート基盤の強化

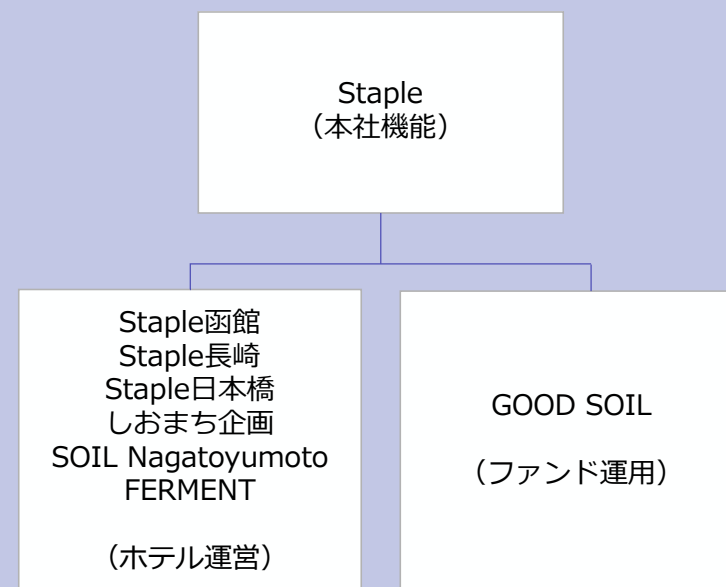
※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現目標とグループ体制

当社グループは、本社機能を担うStapleのもと、全国拠点でホテルを運営する地域子会社(Staple函館、Staple長崎、Staple日本橋、しおまち企画、SOIL Nagatoyumoto、FERMENT)と、不動産ファンドを運用するGOOD SOILで構成されます。

親会社が投資判断・資金調達・DXを統括し、子会社が施設運営とファンド運用を担う体制で、2030年に売上高100億円、2034年に186億円を目指します。

グループ売上高（億円）



○法人番号：

Staple 7130001063308／Staple函館 3440001009266／Staple長崎 6310001019829／Staple日本橋 7010001235661／しおまち企画 7240001054122

SOIL Nagatoyumoto 4250001020200／FERMENT 3010001205354／GOOD SOIL 6010001251445